



竜王スキヤキ
プロジェクト

定例記者会見



資料1

【Special Topics】

「竜王コンパクトシティ化」 の検討スタート！

～10年後のコンパクトシティ化構想と
30年後のグランドデザインを策定します～



竜王町



定例記者会見

1. 事業概要

**すべての世代が笑顔で暮らし続けられる
安心・安全・活力のある竜王の郷づくりをめざして**

◎今後、急速に進む少子高齢や人口減少等の厳しい環境変化に対応するため、居住や教育・医療・福祉・商業・公共交通等の様々な機能の配置を検討し、将来にわたりすべての町民が安心して暮らし続けることができるまちづくりを検討



10年後のコンパクトシティ化

30年後のグランドデザイン

子育て
教育

健康
生きがい

コミュ
ニティ

交流
ネットワーク

交通
インフラ

防災

産業
経済

文化
観光

2. 検討スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～		
コンパクトシティ化、グランドデザイン検討	現況、将来予測、先進事例	コンパクトシティ化		グランドデザイン		取りまとめ		コンパクトシティ化構想・グランドデザインの策定	町民・事業者等への提示・意見交換		
庁内プロジェクトチーム	概ね月2回のペースで開催										
関連プロジェクト (教育、医療、公共交通、公共施設)	総合調整			総合調整							
懇話会		第1回 (9/28)		第2回	第3回	第4回 (公開)					
町民ワーキング		第1回 (9/7)	第2回	第3回							
町議会				中間報告		中間報告		最終報告			

3. 10年後のコンパクトシティ化構想イメージ

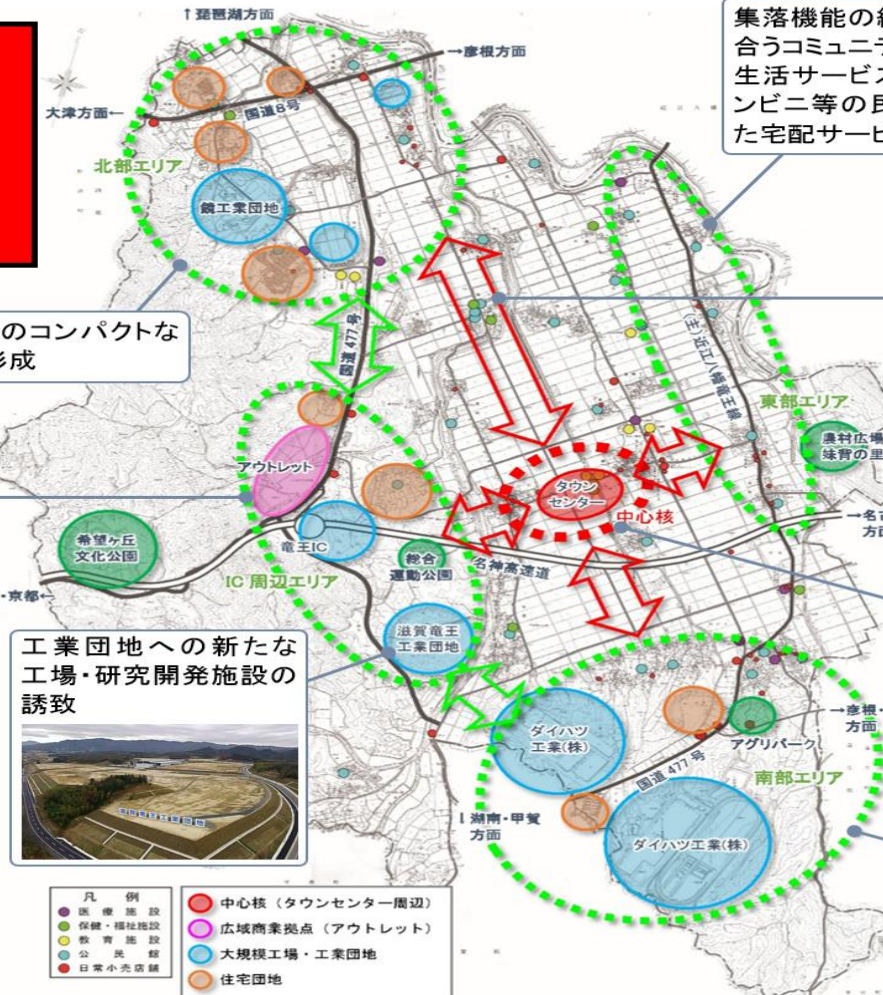
注) このイメージ図は、本事業の業務受託者を決定するプロポーザルにおける提案であり、コンパクトシティ化構想として決定したものではありません

各エリアでのコンパクトな土地利用形成

まちの玄関口として賑わいの感じられる雰囲気づくり



- ◎ 中心核に集約する施設や機能の検討
- ◎ 集落機能を維持する小さな拠点づくりの検討
- ◎ 中心核と各拠点がネットワークする環境づくりの検討



集落機能の維持、地域で支え合うコミュニティづくり、既存の生活サービス機能の維持、コンビニ等の民間施設と連携した宅配サービスの提供 等

道路環境の整備や公共交通の充実による中心核へのアクセス性向上



中心核への計画的な都市機能・公共施設の集約化
(行政、文化、居住、医



各エリアにおける身近な生活サービス機能の維持・機能強化



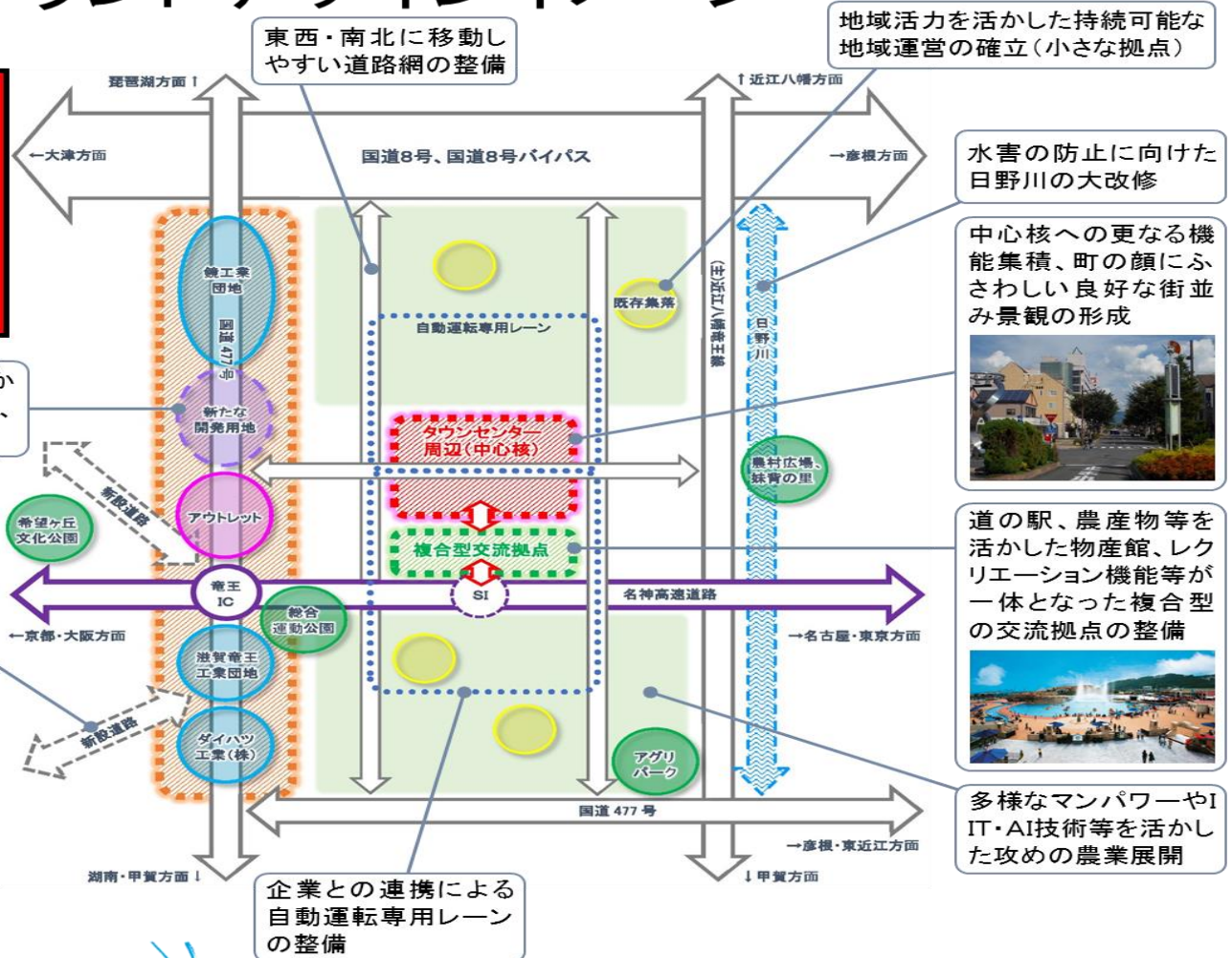
4. 30年後のグランドデザインイメージ

注) このイメージ図は、本事業の業務受託者を決定するプロポーザルにおける提案であり、グランドデザインとして決定したものではありません

広域交通の利便性を活かした産業交流軸の形成、新たな開発・企業誘致

近隣都市を結ぶ新たな道路整備

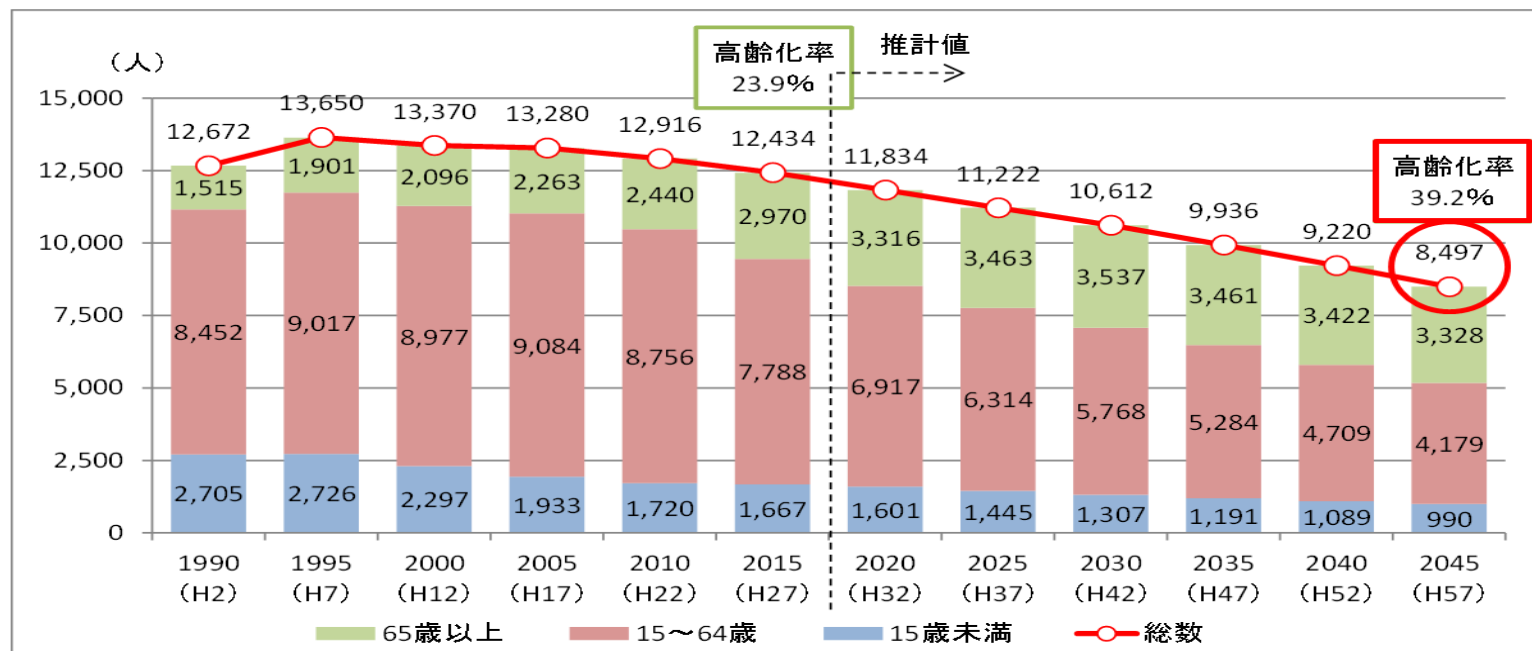
- ◎国や県の大規模プロジェクトや技術革新等による新たなインパクトを反映
- ◎コンパクト・プラス・ネットワークを基本に未来を見据えたグランドデザインを創造



5. 竜王町の基礎データ

①総人口・年齢階層別人口の推移と見通し

- ・人口は1995年をピークに減少傾向
- ・対策を講じなければ、2045年には約8,500人まで減少
- ・高齢化率は2015年の約24%から2045年には約39%に上昇



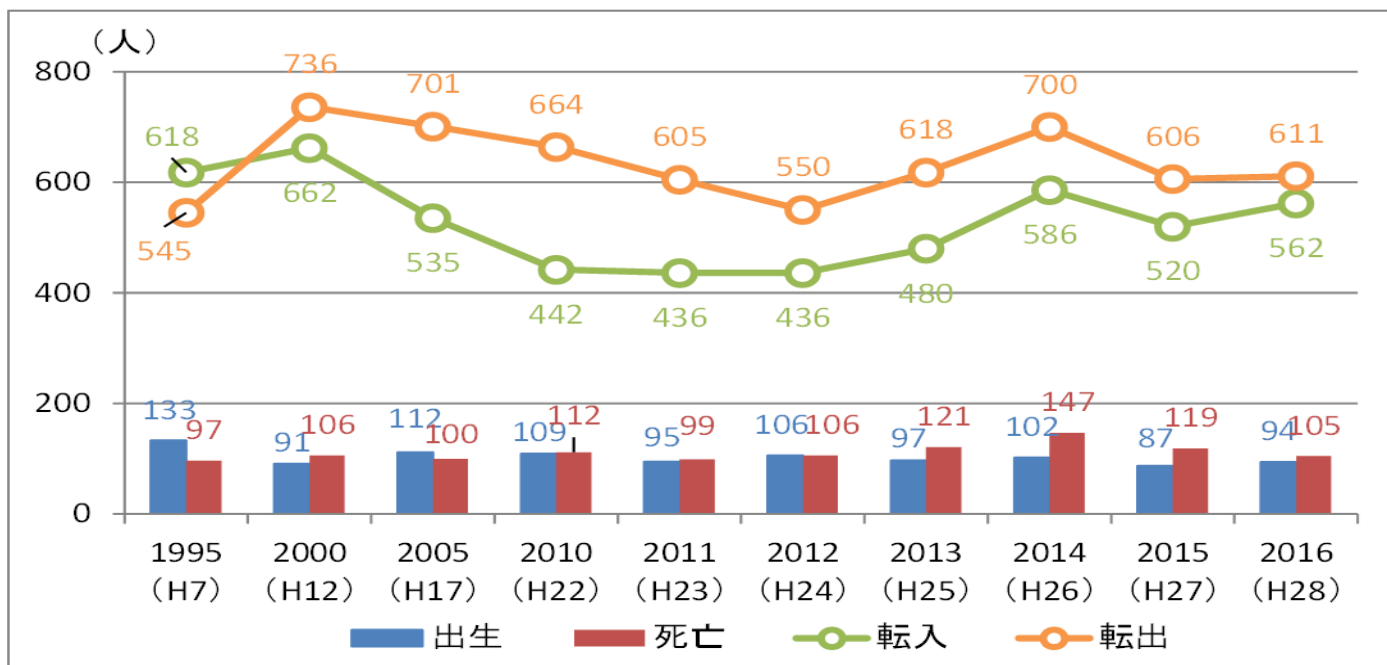
(資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所 (2018.3予測))

定例記者会見



②人口動態

- ・出生数は概ね年間100人程度で推移
- ・死亡数が出生数を上回る自然減が続いている
- ・1995年では転入が転出を上回る社会増、2000年以降は転出が転入を上回る社会減が続いているが、転出超過傾向は弱まりつつある



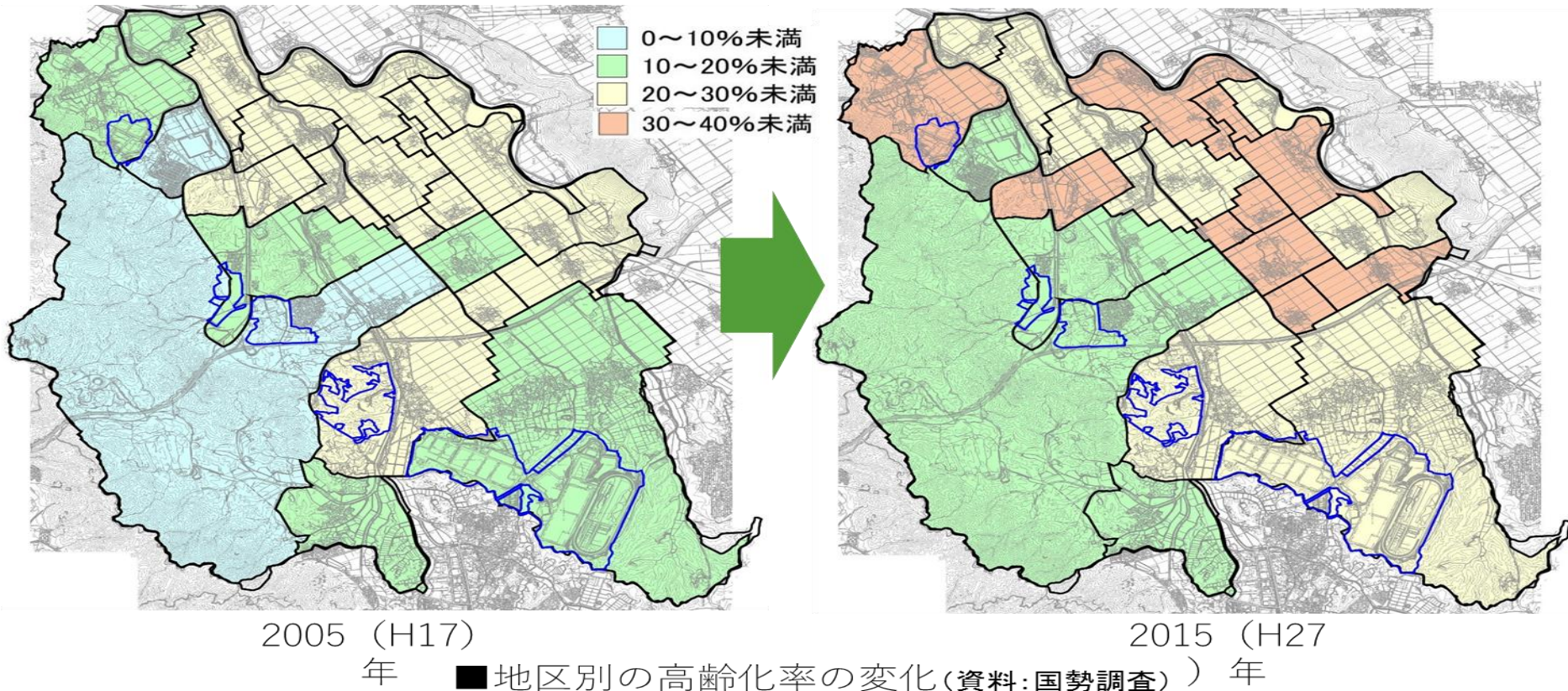
■人口動態の推移(資料:滋賀県統計書)





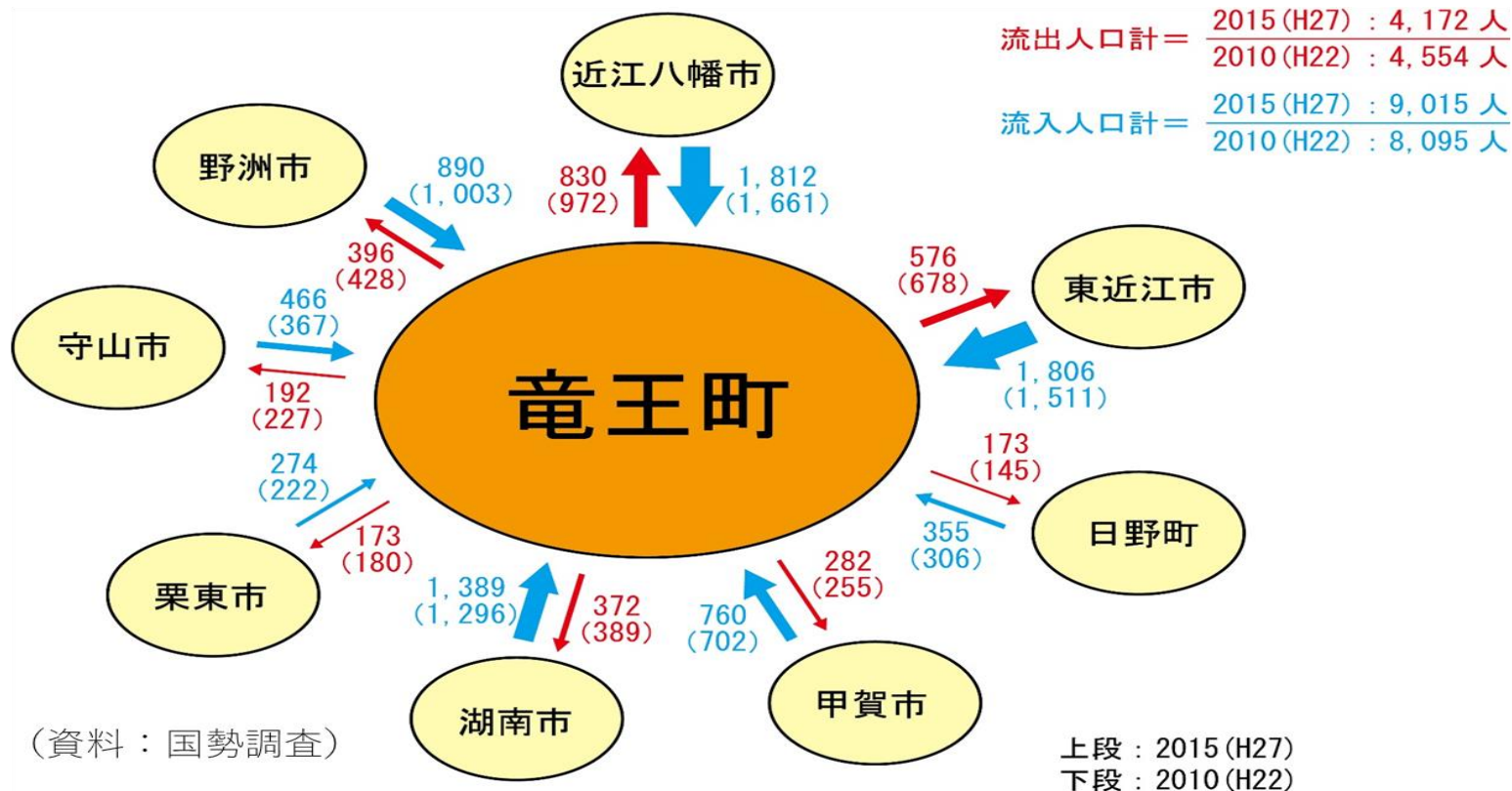
③地区別の高齢化率の変化

- ・ 2005年では、高齢化率30%以上の地区はみられない
- ・ 2015年では、北部～東部エリアを中心に半数近くが高齢化率30%以上



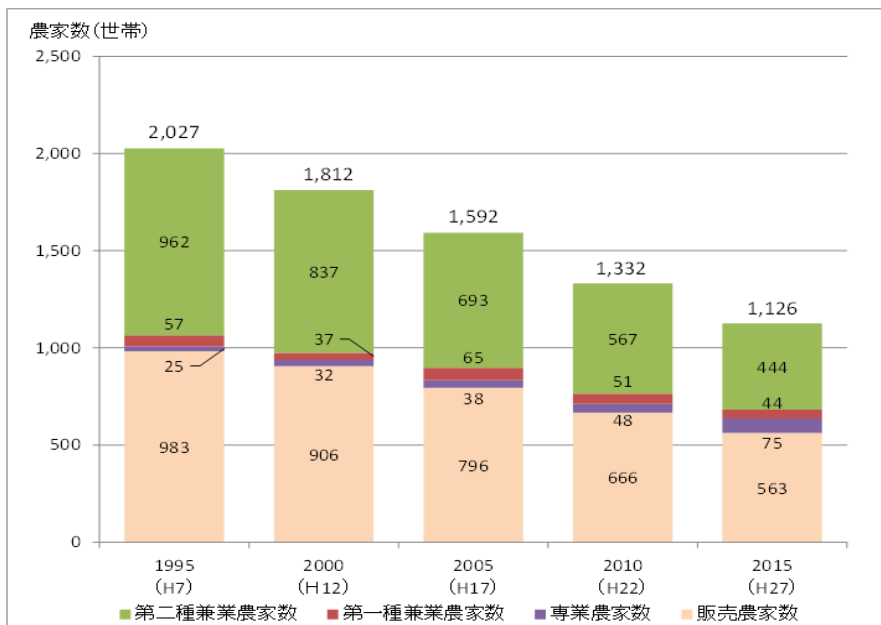
④通勤・通学における人の動き

- ・流入人口が流出人口の2倍以上（2015年）であり、就業の場としての性格が強い
- ・特に、近江八幡市、東近江市、湖南市からの流入が多い

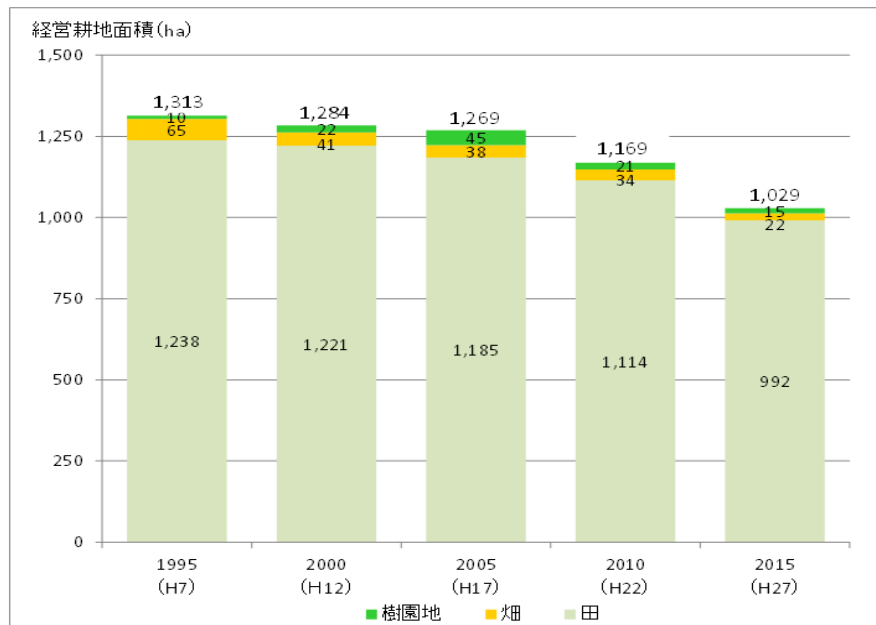


⑤ 農業

- ・ 農家数は減少傾向にあり、2015年では1995年の約半数にまで減少
- ・ 特に第二種兼業農家、販売農家の減少が著しい
- ・ 経営耕地面積は、特に近年において減少



■ 農家数の推移



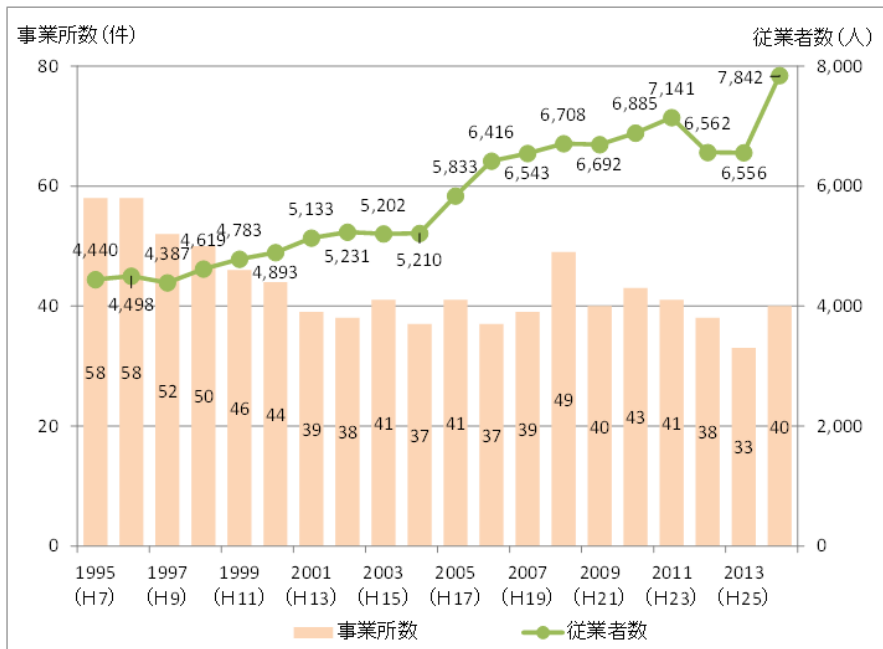
■ 経営耕地面積の推移

(資料：農林業センサス)

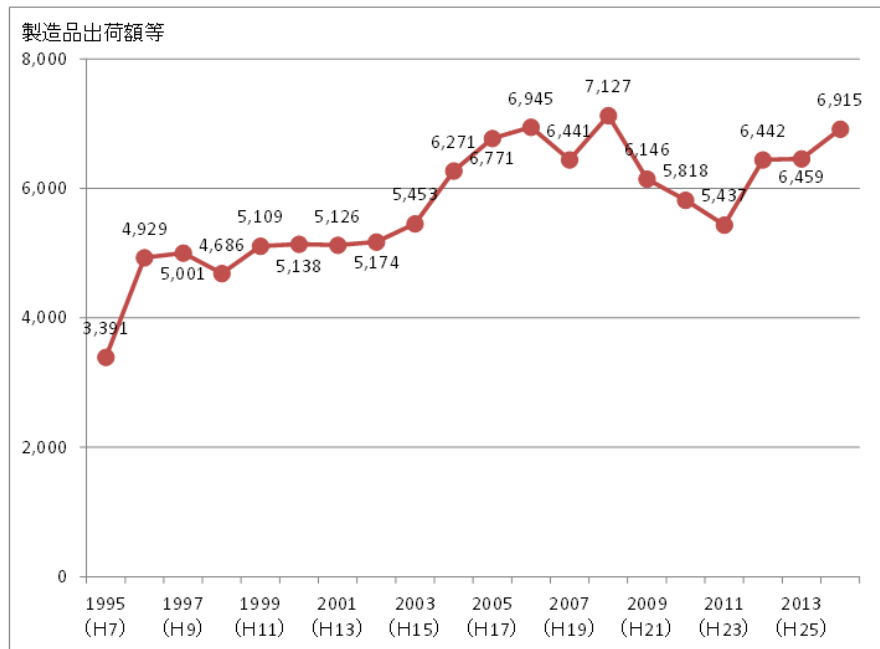
定例記者会見

⑥工業

- ・事業所数は増減を繰り返しており、全体としては緩やかに減少傾向
- ・従業者数は概ね一時期を除いて堅調に増加
- ・製造品出荷額等は年度による変動が大きいですが、全体として増加傾向



■事業所数、従業者数の推移



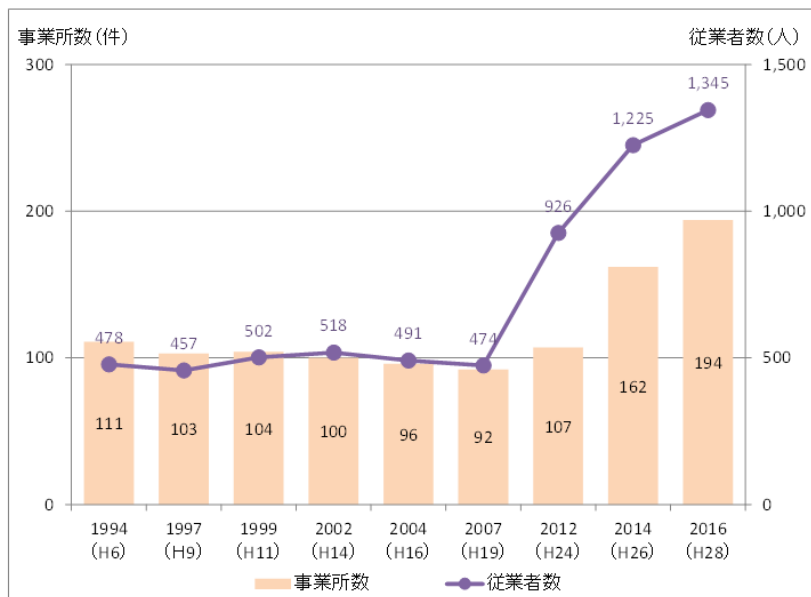
■製造品出荷額等の推移

(資料：工業統計調査)

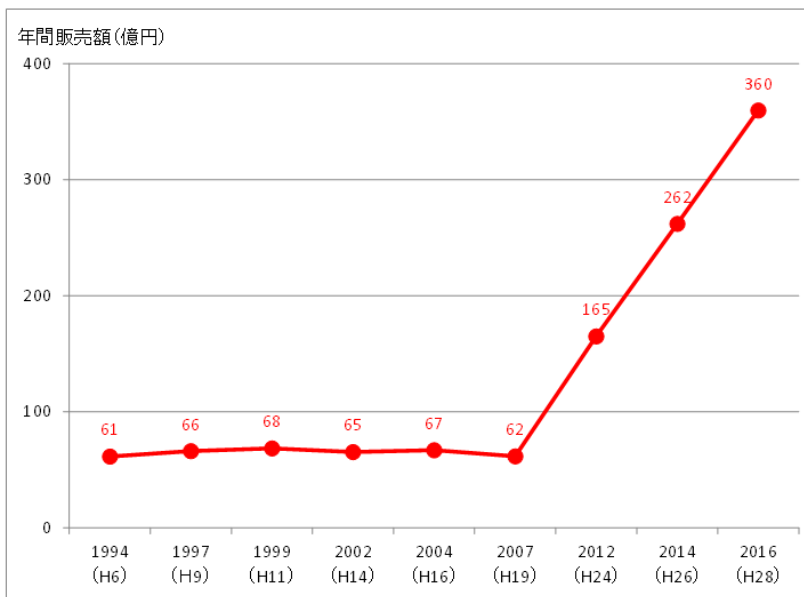
定例記者会見

⑦商業

- ・事業所数は2012年以降急増し、2016年までにほぼ倍増
- ・従業者数、年間販売額は2007年以降急増し、2016年までに従業者数は約3倍、年間販売額は約6倍に増加



■事業所数、従業者数の推移

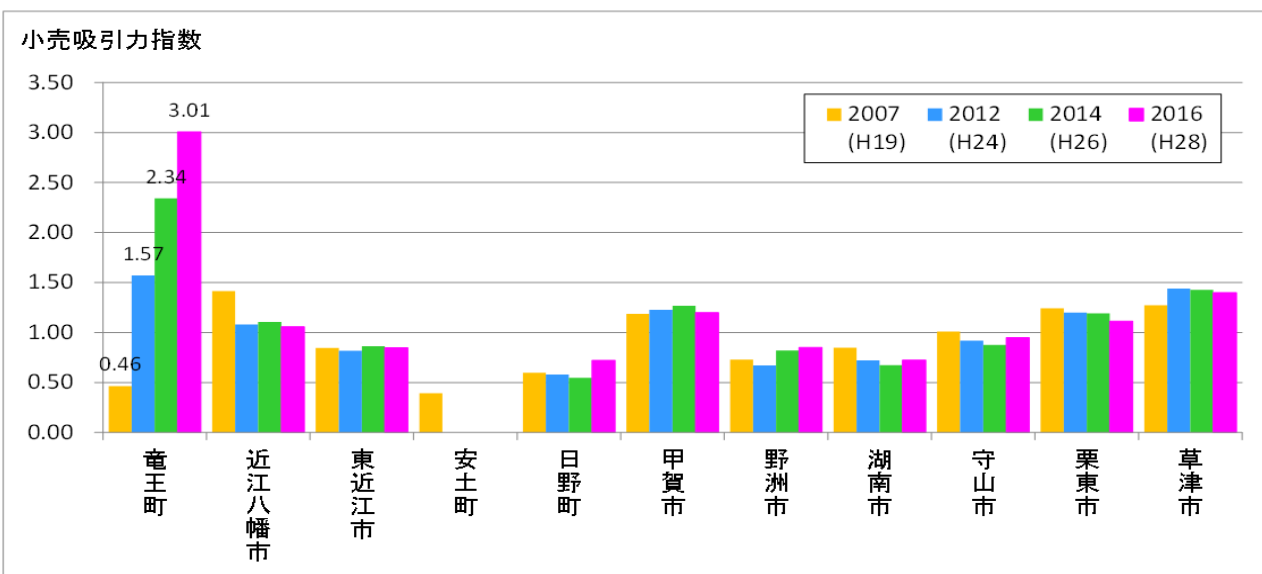


■年間販売額の推移

(資料：商業統計調査、経済センサス)

⑧商業（小売吸引力指数）

- ・平成19年では0.46で、近江八幡市を中心に周辺都市へ購買が流出
- ・2010年のアウトレットパーク、2011年のフレンドマート開業の影響により、小売吸引力指数が飛躍的に増加
(周辺都市の推移を勘案すると、特に県外からの消費を吸引)



■ 周辺都市の小売吸引力指数の推移(資料:商業統計調査、滋賀県統計書)

※小売吸引力指数とは、店舗・ショッピングセンター等の商業集積が、周辺地域の購買力をどれだけ自分のまちに吸引できるかを表す指標で、1.0を超えれば周辺地域の消費活動を取り込んでいるとみなされる

6. 竜王町の強み・弱み

	強み	弱み
交通	○国土レベルの幹線交通網 (名神、竜王IC、R8号、 R477号)	△鉄道のないまち △町民の移動手段の多くは自動車
土地利用	○豊かな自然環境 (一団に広がる農地、西に連 なる山地、南部の丘陵地)	△町の93%が市街化調整区域 (自由に開発や建築できる場所 が少ない)
人口	○通勤通学における流入人口が 流出人口の2倍以上	△10年後：-10%、30年後：-30% △30年後の高齢化率が約4割
暮らし	○住み良さへの評価、定住意向 が高い (H21総合計画アン ケート)	△自然豊かで大規模公園もあるが、 町民が身近に憩える場所がない
産業	○農業のまち (米、果樹、畜 産) ○工業団地、製造業、研究施設 ○アウトレット、フレンドマー ト (小売吸引力指数0.5→3.0)	△転出者が転入者を上回る (特に若い世代の転入・転出が 大) △製造業は景気に左右されやすい
財政	○財政力指数は0.99で県内1位	△合併特例債の適用がない。